

「農業小屋の改修と活用ー栃木県益子町における農業景観の維持とアグリツーリズムへの展望ー」プロジェクト

代表者	小埜芳秀【教授】(建築学部 建築学科)
構成員	池田大佳(理工学研究科 建築学専攻)／藤岡克典(理工学研究科 建築学専攻)／堀川佳子(理工学研究科 建築学専攻)／呉田祐哉(理工学研究科 建築学専攻)

■地域志向(COC)活動助成プロジェクトの成果



「解体から解剖へ」
小埜研究室は2021年度より栃木県益子町の景観計画に参画し、アグリツーリズムの推進とコミュニティ活性化に取り組んでいる。今年度実施した「タバコ乾燥小屋解体プロジェクト」は、単なる建物の撤去ではない。図面や口伝といった記録が少ないため、実物を解体しながら調査・保存・考察を進める「建築の解剖」として実践した。さらに、この活動を通じて研究室を中心とする関係人口は着実に拡大し、多様な属性を持つ人々との協働が、次なる展開と新たな思索を生む強固な基盤となった。

タバコ乾燥小屋解体調査・手法

